

平成21年12月教育委員会会議の要旨

議案

議案第1号『教育委員会が任命する現業職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について』

議案第2号『教育委員会が任命する現業職員の給与の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について』

【概要】

議案第1号と第2号については関連があるため、一括して審議され、承認された。

1 改正の趣旨

《議案第1号》

人事院勧告による国の俸給表の改正に伴い、国の俸給表を準用している現業職員の給与について所要の改正を行うもの。

《議案第2号》

現業職員の給与規則の改正に併せ、現業職員の給与の特例（減額措置）について所要の改正を行うもの。

2 改正の内容

《議案第1号》

- (1) 国の行政職俸給表（二）の改正に準じ、現業職給与表の給料月額について引き下げ改定を行う。
- (2) 現業職給与表の改定に伴い、給料月額の経過措置の取扱等について、規定の整備を行う。

《議案第2号》

現業職給料表の改定に伴い、給料月額の経過措置を適用されている者に給与の特例を適用する際の給料月額の取扱について、規定の整備を行う。

3 施行期日

平成22年1月1日から適用する。

意見交換

- ◆『新しい高等学校学習指導要領の実施に向けて～生徒の多様な進路希望の実現に向けて高校教育に求められること～』

【概要】

山口県の現状

- ・大学進学率、その他（家事手伝い等）の割合は、全国に比べて低い。
- ・就職率、専修学校等進学率は、全国に比べて高い。

課題

『一人ひとりの夢の実現』を目指して、新しい学習指導要領実施のもと、生徒の多様な進路希望の実現に向けてどのような教育活動が求められるか。

各学校では、「一人ひとりの夢の実現」を目指し、日々教育活動に取り組んでいる。このたびの学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえて、課題を克服するために、今後の高等学校に何が求められるか、次の3つのポイントから意見交換を行った。

- ① キャリア教育の推進　－夢とその実現に向かう意欲－
- ② 生きる力の育成　－共通性と個別性－
- ③ 社会の変化と多様性への対応

【質疑】

- 質問) 勉強する時間数（授業時間）は、現在の学習指導要領と比べて増えたのか、それとも減っているのか。
- 回答) 基本的に、制度的には授業時間は変わっていない。
- 質問) 高校における義務教育内容の復習は、こういった形で実施されるのか。
- 回答) 朝の10分授業を通年で計画的に実施して、それを1単位の増加単位として認める方法や、学校設定科目として履修する方法など、生徒と学校の実態に応じて実施することとなる。
- 質問) 長期休業中における授業計画について、国もしくは県からおよその目安は示されているのか。
- 回答) 生徒の実情に応じて学校が計画を立てたことについて、国や県から「その計画は認められない」ということはなく、学校が主体的に日程と内容を決めている。
- 質問) 長期休業中の授業について、すべての子どもが対象ではなく、特定の子どものみを対象としているものはあるか。
- 回答) 基本的には学年単位やクラス単位となるが、インターンシップなどでは参加した生徒に単位が認められるケースもある。
- 質問) 朝の10分授業を実施するという判断は校長がするのか。
- 回答) 校長個人の判断ではなく、学校全体の指導計画の中で決定し、取り組むこととなる。

質問) 高校を卒業し、就職した子どもたちの離職率はわかるか。

回答) 雇用保険から見た結果、就職して3年後の離職率は全国が約40%後半なのに比べ、山口県は数%低く、約45%程度で推移している。

【その他意見】

- ・ 小中学校で受けた授業内容がわからないまま高校に進学し、高校の授業についていけないという話を聞いたことがあるので、義務教育段階の学習内容の確実な定着がこのたびの改訂に盛り込まれたことは非常に良い。
- ・ 社会情勢がグローバル化し、競争が激化する中で、今の日本の若者がそういう競争社会の中で『生きる力』が身に付いてきているのだろうかという危機感がある。先生は大いに子どもたちを励まし、朝の10分授業に限らず、子どもたちにはどんどん勉強をしてもらいたい。
- ・ 基本的に競争力や競争心というものが少し希薄な子どもたちが最近増えてきているのではないだろうか。
- ・ 山口県はフリーターやニートと呼ばれる人の割合が少ないが、彼らを社会全体で受け入れるという意味で、小中学校・高校からその辺も念頭に置いた教育が必要であると思う。
- ・ 授業時間数等の議論はあるが、基本的には子どもたちをたくましく育てて欲しいという感じている。
- ・ 高校進学・大学進学が最終目的ではなくて、社会に出て行く中で『生きる力』を身に付け、その後のことをしっかりと見ていかなければならない。大学が求めていることを知ること、あるいは自分が就職した会社が希望と一致するかなどが、キャリア教育で大事なことだと思う。